

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【公開番号】特開2009-268918(P2009-268918A)

【公開日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2009-188181(P2009-188181)

【国際特許分類】

A 47 J 37/06 (2006.01)

F 24 C 1/00 (2006.01)

H 05 B 6/12 (2006.01)

【F I】

A 47 J 37/06 3 2 6

F 24 C 1/00 3 1 0 B

F 24 C 1/00 3 2 0 B

F 24 C 1/00 3 2 0 C

H 05 B 6/12 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月24日(2010.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記課題を解決するために、本発明の請求項1では、誘導加熱調理器の本体の上面に設けられたトッププレートと、該トッププレートの左右に設けられた加熱コイルによる電磁誘導加熱ができる鍋載置部と、前記本体の左側に配置されたロースターと、前記本体の右側に配置された操作パネルと、前記ロースターの右側に配置され前記本体から着脱可能な給水タンクと、前記ロースター内の被加熱物を加熱するために前記給水タンク内の水から生成した飽和スチームを過熱して過熱スチームを生成する電気ヒータとを備えた。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、請求項3では、誘導加熱調理器の本体の上面に設けられたトッププレートの左右に加熱コイルによる電磁誘導加熱ができる鍋載置部を設け、前記本体に設けたロースターと操作パネルとの間に、飽和スチームを生成するための水を入れる給水タンクを着脱可能に配置した。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また、本発明の請求項7によれば、利用者が給水タンク内の残水量を容易に知ることができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

さらに、本発明の請求項6によれば、利用者が本体の前面から給水タンクを容易に着脱できる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

誘導加熱調理器の本体の上面に設けられたトッププレートと、  
該トッププレートの左右に設けられた加熱コイルによる電磁誘導加熱ができる鍋載置部  
と、

前記本体の左側に配置されたロースターと、  
前記本体の右側に配置された操作パネルと、  
前記ロースターの右側に配置され前記本体から着脱可能な給水タンクと、  
前記ロースター内の被加熱物を加熱するために前記給水タンク内の水から生成した飽和スチームを過熱して過熱スチームを生成する電気ヒータとを備えたことを特徴とする誘導加熱調理器。

【請求項2】

請求項1に記載の誘導加熱調理器において、  
前記着脱可能な給水タンクは、前記ロースターの右側に代えて前記ロースターの左側に配置されることを特徴とする誘導加熱調理器。

【請求項3】

誘導加熱調理器の本体の上面に設けられたトッププレートの左右に加熱コイルによる電磁誘導加熱ができる鍋載置部を設け、前記本体に設けたロースターと操作パネルとの間に、飽和スチームを生成するための水を入れる給水タンクを着脱可能に配置したことを特徴とする誘導加熱調理器。

【請求項4】

請求項1から3何れか一項に記載の誘導加熱調理器において、  
前記ロースター内には、被加熱物を載置する載置台が設けられており、  
過熱スチームを生成する電気ヒータは、前記載置台よりも上方に設けられた電気ヒータであることを特徴とする誘導加熱調理器。

【請求項5】

請求項1から3何れか一項に記載の誘導加熱調理器において、  
前記ロースター内には、被加熱物を載置する載置台が設けられており、  
過熱スチームを生成する電気ヒータは、前記載置台よりも下方に設けられた電気ヒータであることを特徴とする誘導加熱調理器。

【請求項6】

請求項 1 から 3 何れか一項に記載の誘導加熱調理器において、  
前記給水タンクには、利用者が前面から着脱するための取っ手が設けられることを特徴  
とする誘導加熱調理器。

**【請求項 7】**

請求項 1 から 3 何れか一項に記載の誘導加熱調理器において、  
前記給水タンクには、残水量を確認するための水量確認窓が設けられることを特徴とす  
る誘導加熱調理器。

**【請求項 8】**

請求項 1 から 7 何れか一項に記載の誘導加熱調理器において、  
過熱スチーム調理を行った後に、電気ヒータ調理を行うことを特徴とする誘導加熱調理  
器。